



故海軍中佐正六位勲五等功五級服部雄
吉以下二名贈位ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

明治三十四年八月二十三日

内閣總理大臣子爵桂太郎

内閣



内閣書記官 海 七五 番

八月廿三日 八月廿三日

明治卅四年八月 日

内閣書記官

内閣總理大臣

才

内閣書記官長

才

至急発表相成度

海軍大臣上奏故海軍中佐服部雄吉以下
二名贈位ノ件ヲ按スルニ右ハ明治廿八年八
月勅裁ヲ經タル奏議ノ旨趣ニ基キ三十年四
月勅裁ヲ經タル戦死者贈位并敘位進階内則
ニ據リ上奏シタルモノニシテ不都合無之ニ付左按
ノ通御沙汰相成然ルヘシト認ム

内

閣

故海軍中佐正六位勲五等功五級服部雄吉
故海軍大尉正七位勲五等菅 文三

特旨ヲ以テ位階進陞セラル

故正六位勲五等功五級服部雄吉

贈正四位

故正七位勲五等菅 文三

贈正五位

明治廿四年八月 日

内閣書記官

内閣總理大臣

才

内閣書記官長

吉

海軍大臣上奏故海軍中佐服部雄吉以下
二名贈位ノ件ヲ按スルニ右ハ明治廿八年八
月勅裁ヲ經タル奏議ノ旨趣ニ基キ三十年四
月勅裁ヲ經タル戦死者贈位并敘位進階内則
ニ據リ上奏シタルモノニシテ不都合無之ニ付左按
ノ通御沙汰相成然ルヘシト認ム

内

閣

故海軍中佐正六位勲五等功五級服部雄吉
故海軍大尉正七位勲五等管 文三
特旨ヲ以テ位階進陞セラル

故正六位勲五等功五級服部雄吉
贈正四位

故正七位勲五等 管 文三
贈正五位

第一五八
故海軍中佐服部雄吉、笠置兼組奉職
中本年六月十七日大沽砲臺攻撃、際故海
軍大尉菅文三八須磨分隊長奉職中陸戰
隊ニ編入天津方面へ派遣中同月十八日孰シモ
殊死奮戦其武功拔群將來軍人ノ鑑トナリ
其美名ヲ後世ニ表彰スヘキ戰死者ト認メ候ニ
付頭書之通夫々贈位セラレ度別紙上奏書
進達ス

明治三十四年八月二十一日

海軍大臣山本權兵衛



内閣總理大臣子爵桂 太郎殿

海軍

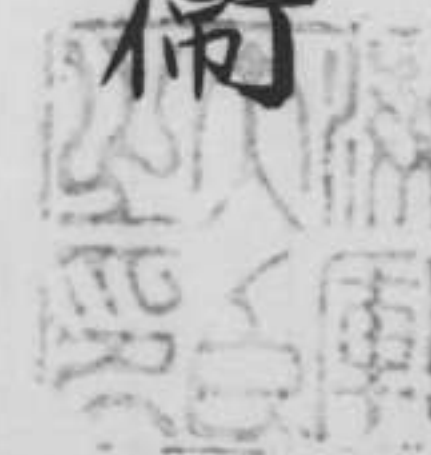
贈正四位
贈正五位
右謹奏

明治三十四年

八月二十一日

海軍中佐正六位勲五等功五級服部雄吉
海軍大尉正七位勲五等菅文三

海軍大臣山本權兵衛



海軍